

## 保育を必要とする証明の内容及び認定有効期間

### 【保育を必要とする証明の内容】

保護者の状況	必要な書類（父母それぞれ必要です）
就労（外勤）の方 （就労内定・産休・育休含む）	「勤務（内定）証明書（外勤用）」＜区様式＞ ※1日4時間以上かつ週4日以上就労に限る
就労（自営）の方 （A・Bいずれも必要）	A. 「就労状況申告書（自営・内職用）」＜区様式＞ ※1日4時間以上かつ週4日以上就労に限る B. 「自営を証明する書類」 ※「開業届、領収書、請求書、伝票等」のうちいずれか一点の写し
出産の方（外勤以外） ※現在就労していない方が 出産を理由に、児童を認可外 保育施設等に預ける場合	「母子健康手帳の写し」 （表紙＋分娩（出産）予定日が記載されているページ）
疾病・障害の方	「診断書原本」または「障害者手帳の写し」
介護の方 （A・Bいずれも必要）	A. 「介護状況調査書兼日常生活状況調査票」＜区様式＞ B. 「被介護者の診断書原本」
就学の方 （A・Bいずれも必要）	A. 「在学証明書」 B. 「カリキュラム」等
求職中の方	申請時の書類の提出は不要ですが、就労の意思や求職活動の状況等を確認する場合があります

※＜区様式＞は区指定の様式での提出が必要です。様式は区HPに掲載しています。

### ＜離婚等により配偶者がいない場合＞

父（母）の保育の必要性の証明に加え、配偶者がいない理由に応じて以下の書類の提出が必要です。

理由	必要書類
離婚、未婚	「ひとり親申立書」＜区様式＞ 及び 戸籍謄本の写し
離婚調停中	「ひとり親申立書」＜区様式＞ 及び 離婚期日通知書等の写し
その他（拘禁、失踪等）	保育課入園係にご相談ください

### 【認定の有効期間】

認定は以下の表のとおり、全クラス年齢共通で保護者の事由に応じて有効期間が定められています（父母のうち、いずれか短い期間を適用）。

保護者の状況		母（又は父）					
		就労	求職	出産	疾病	介護	就学
父 （又は母）	就労	小学校 就学前まで	3か月間	出産予定月 及びその前後 2か月の 5か月間	小学校 就学前まで	小学校 就学前まで	保護者が 在学中のみ
	就学	小学校 就学前まで	3か月間	出産予定月 及びその前後 2か月の 5か月間	小学校 就学前まで	小学校 就学前まで	保護者が 在学中のみ

### <有効期間の更新手続きについて>

保護者が以下の事由に該当する場合、有効期間の更新手続きがないと、有効期間の終了をもって補助金の受給資格を失います。

事由	手続き期限	必要書類
求職	有効期間終了月末まで	①勤務(内定)証明書【区様式】 (1日4時間以上かつ週4日以上 <sup>の</sup> 就労に限る) ②求職活動報告書【区様式】(※) ①又は②のいずれかをご提出ください。
就学	有効期間終了月末まで	①勤務(内定)証明書【区様式】 (1日4時間以上かつ週4日以上 <sup>の</sup> 就労に限る)
出産	有効期間の更新はできません。再度、別の事由での申込みが必要です。	

※ 求職活動報告書は有効期間終了月にご提出ください。

### <求職中の方の手続きについて>

求職中で認定された方は、3ヶ月以内に就労(1日4時間以上かつ週4日以上)を開始する必要があります。就労を開始した場合は、速やかに「勤務(内定)証明書」等をご提出ください。

就労を開始できない場合は、原則として3ヶ月間で認定期間が終了しますが、やむを得ない理由等で、就労を開始できなかった場合に限り、求職活動の詳細な状況を報告することで認定期間を更新できる場合があります。

認定期間の更新を希望する場合は、必ず認定期間の終了月内に「求職活動報告書」<区様式>をご提出ください。

(例) 認定期間が10月～12月で、求職活動をおこなったものの就労できなかった場合 ⇒ 12月中に求職活動報告書を提出